

エコカード基金の想い

私たちコスモエネルギーグループが取り扱う石油は、

豊かな暮らしを支えてきた一方で、地球環境に負荷を与えてしまうことも事実です。

そこで私たちは、1990年代からいち早く環境問題に取り組んできました。

そのひとつが、「ずっと地球で暮らそう」プロジェクトとして活動を続けている「エコカード基金」です。

長年、気候変動や生態系を守る活動をサポートすることで、貧困など根本的な問題の解決にも貢献してきました。

エコカード基金は来年20年目を迎えます。このひとつの節目に、今までの活動を大切に守り、

その上で、低炭素・資源循環型社会の実現に向け、一歩踏み込んだ取り組みを重ねていきたいと考えています。

そんな思いから、再生可能エネルギーに向きあい、同時に、次世代を育てるプロジェクトをスタートさせていきます。

これらのひたむきな思いと取り組みを、社会のために。そして未来のために。

エコカード基金は皆さまとともに歩んでまいります。



2020年度新たなプロジェクトがスタート!!

2020年度は、子どもたちや地域住民への啓発活動、また、低炭素社会の実現をめざす活動を強化すべく再生可能エネルギー活用に取り組むプロジェクトの支援を開始します。引き続き、よろしくお願いいたします。

宮城

特定非営利活動法人
スパッと鳴子温泉自然エネルギー

鳴子温泉の地熱と暮らす

温泉地の方をもっと暮らしの力に。
エネルギーの地産地消を、根付かせる活動です。

東日本大震災後、ここ宮城県鳴子温泉ではライフラインの断絶により、エネルギーの地産地消に対する意識が高まりました。そこで着目したのが、温泉地ならではの地熱という再生可能エネルギーを活用していくこと。地熱の活用を根付かせるためには、将来、地域を担う子どもたちへの啓発を通じ、地域の発展に役立つ視点を育てていくことが重要です。具体策として、小中学校への出前授業で学習プログラムを提供し、身近なエネルギーである温泉熱について学んでもらう活動を進めています。そして将来的には、このプログラムをエネルギー&エコツーリズムという事業に育て、地域の活性化にさらに貢献したいと考えています。



※2019年度の活動の様子

座学や実験、施設見学などを通じて、「何?」から「あ!そうか」と笑顔に変わる子どもたちを見るのがうれしいですね。



写真左より、村松洋司さん、木下健さん、高橋優さん、菊地昭二さん、岩佐亮一さん、菊地伸裕さん、佐々木剛司さん



エコカード基金会員の皆さま、ありがとうございます。ジュニアとシニアが協力して、びわ湖と地球の環境を守りたいと思います。



熊谷道夫さん、青田容明さん、参加された小中高生の皆さま



※2019年度の活動の様子

滋賀

認定特定非営利活動法人びわ湖トラスト

学ぶ、守る、つなぐ、琵琶湖の水

地球温暖化が湖沼へ及ぼす影響を子どもたちと考え、課題の解決をめざします。

地球温暖化が、琵琶湖の環境にも悪影響を及ぼしていることをご存じでしょうか。1990年以降、水温が急激に上昇するなかで、2019年の冬には「琵琶湖の深呼吸」と呼ばれる自然現象がストップしてしまいました。これは、湖底近くの生物が棲みにくい環境を生み出すことを意味します。この事実を子どもたちに伝え、ともに考えていくため、まずはソーラーボートの製作を通じ、水面から水中に入る太陽エネルギーの大きさを実感し、全循環を理解してもらおうプログラムを計画中です。子どもたちを中心に、地域住民、さらには県や国といった行政も巻き込みながら、課題の解決策を見つけて出すことをめざします。

※酸素を多く含んだ湖底近くの水と湖底の水が入れ替わる現象。